ルワンダからの研修員であるMr. NDAYAMBAJE Clementより近況活動報告のメールをいただきましたので、次頁に紹介させていただきます。

彼の役職は、Water engineer for Network and Maintenance of WASAC Groupで、彼は2025年11月～12月にJICA九州にて行われた給水衛生管理に関する研修コースに参加しておりました。

正式な研修コース名： アフリカ地域 村落給水衛生管理（B）
コースリーダー：窪田琢也

ArcGIS Field Maps を活用したネットワークの監視・管理
（適切かつ効率的な給水マッピング）

マッピングシステムの情報（漏水箇所やその他の給水業務に関する情報など）を更新し、それを通じて無収水（NRW）の把握と削減を図るための主な取り組み：

1．リモートセンシングを活用した漏水調査
（WASACグループとルワンダ宇宙庁との間の覚書に基づく）
目的：最新のリモートセンシング技術を用いて、漏水箇所の特定、調査、および監視を行う。

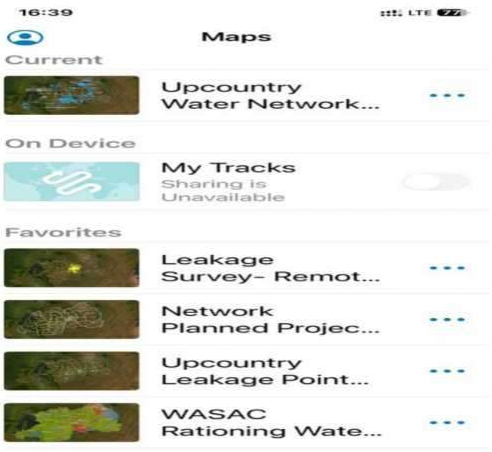
2．給水制限管理システム
目的：給水制限期間中における配水の監視および管理を改善する。
注：給水制限の設定変更は、技術者（テクニシャン）ではなく、給水エンジニアのみが行う。

3．漏水管理システム
目的：配水網における漏水の検知、報告、および削減のための体制を強化する。
注：各配管工には個別のユーザー名とパスワードが割り当てられる。

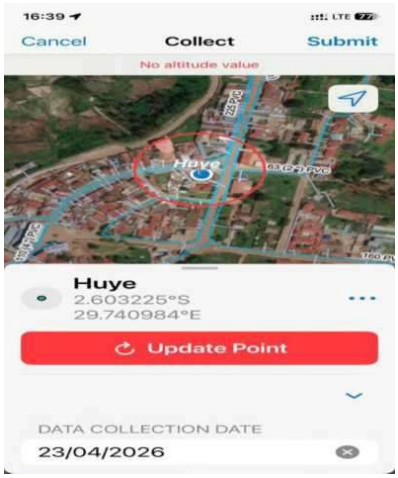
4．給水網整備計画プロジェクト
目的：給水設備の改修および配水管の拡張が計画されている箇所のマッピングを行う。
注：プロジェクトのマッピングは、技術者（テクニシャン）ではなく、給水エンジニアのみが行う。

5．給水網管理
WASACのインフラ設備の監視・管理を強化する上で、これらの対話型アプリケーションは重要であり、以下の点での改善に寄与します。
· 給水網運用業務の効率化、漏水の早期発見、配水管理の向上、漏水量の削減、顧客へのサービス提供全般の改善

今後の計画：
農村部給水システム、特にフイェ・パイロットエリアにおける現在の無収水（NRW）の状況を把握し、その量を削減する。



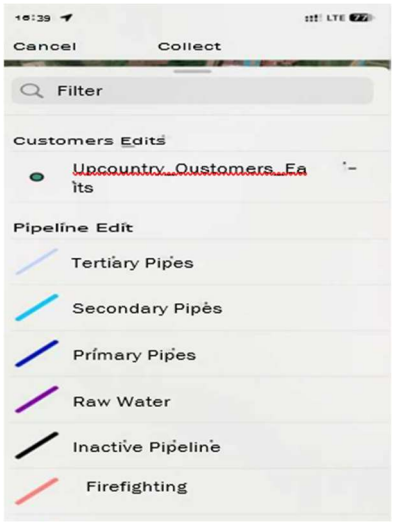
アプリケーションを示す現在のダッシュボード

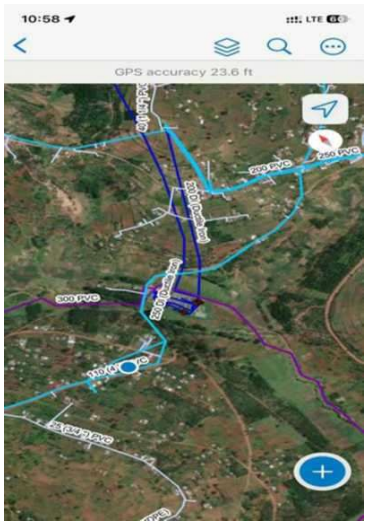


給水網編集用ダッシュボード

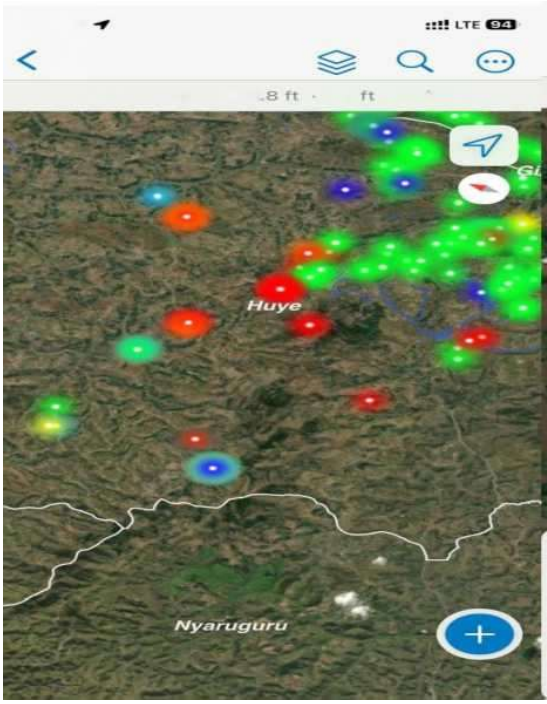


給水制限管理用ダッシュボード

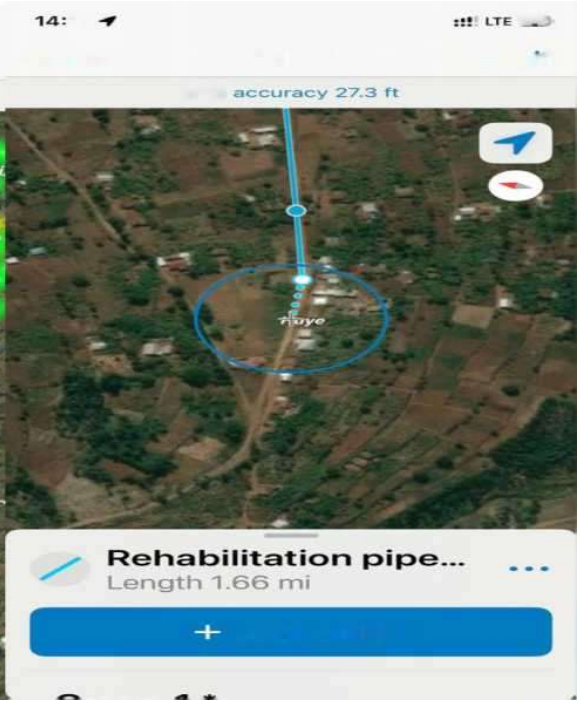




給水網の配管編集



マッピングされた漏水箇所



給水網の計画配管編集





民間事業者 REDEC 社（フイェ郡）が管理する農村地域で勤務する同僚（配管工および技術者 1 名）への研修の様子